

京都浮世絵美術館 Kyoto Ukiyo-e Museum

江戸時代の浮世絵が
京都に集まる



葛飾北斎
喜多川歌麿
歌川広重
二代広重
三代豊国
歌川国芳
歌川貞秀
歌川芳員
円山応挙



〒600-8004

京都市下京区四条通寺町西入奈良物町365番
キリハタビル 2F

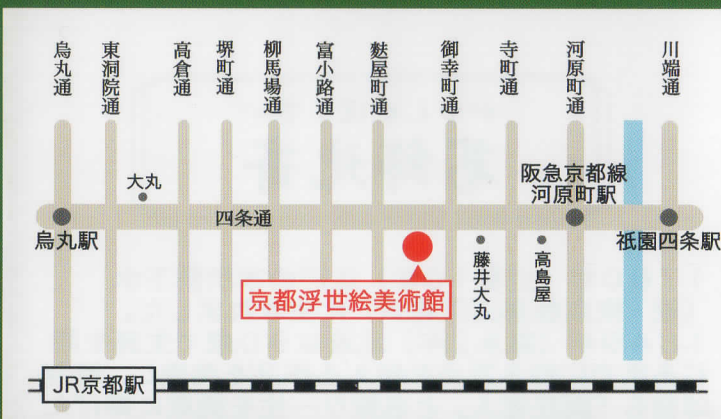
(四条御幸町通り、京都中央信用金庫 四条支店 西隣り)

TEL 075-223-3003 FAX 075-223-3004

開館時間 10:30~18:30 (最終入館 18:00)

休館日 元日

観覧料 大人 1,000円
小学生 300円
団体割引(15名以上) 800円



交通

阪急京都線「河原町」駅徒歩3分

地下鉄烏丸線「四条」駅徒歩7分

京阪本線「祇園四条」駅徒歩10分

※地下連絡通路からは11番出口が最寄りとなります
(出口より東へ約30m)



Google Map ▲

www.kyoto-ukiyo-e-museum.com

見学にあたってのお願い

- ・入場券1枚にて1名様に限り有効です。再入場はできません。
- ・入場券は切り離し無効です。
- ・入場券の払戻、交換、再発行はできません。
- ・館内の混雑の際には、入場をお待ちいただくことがあります。
- ・館内での飲食はご遠慮ください。
- ・館内の温湿度、照度は作品保護に適した環境に調整されていますので、ご了承ください。
- ・館内での写真・ビデオ撮影、模写ならびに鉛筆以外の筆記用具の使用はお断りいたします。
- ・館内での携帯電話、携帯端末の使用はご遠慮ください。
- ・館内では係員の指示に従ってください。ご協力いただけない場合は退場していただく場合がございます。

ミュージアムショップのご案内

浮世絵にまつわるグッズを多数集めました。

江戸時代から明治時代初期の浮世絵をはじめ、浮世絵復刻木版画、当館オリジナルグッズや美術関係書籍、さまざまな浮世絵関連グッズを取り扱っています。



うたがわひろしげ
歌川広重



とうかいどうごじゅうさんつぎのうち
東海道五十三次之内
けいし さんじょうおおはし
京師 三条大橋

1797年（寛政9年）江戸幕府の定火消しの安藤家に生まれ、安藤広重とも呼ばれています。江戸時代に政情が安定し、享保年間（1716-36）頃から民衆の旅が盛んとなったことから、文化・文政期（1804-30）に起こった旅ブームに便乗して発表した風景画「東海道五十三次」で人気絵師になりました。広重作品は藍色を使った作品が印象的で「ヒロシゲブルー」「ジャパンプルー」とも呼ばれ愛されています。独自の構図や独特の色彩表現は19世紀「ジャポニズム」として人気をあつめました。

きたがわうたまる
喜多川歌麿



せいろうゆうくんあわせかがみ
青楼遊君合鏡

たまやないこむらさき はなむらさき
玉屋内小紫・花紫

「美人画といえば歌麿」と言われるほど、女性を描いた作品が評価されている絵師です。全身を描かず顔を中心とする「大首絵」というスタイルを確立し表情から内面や情感を表現しようとする作風が、当時江戸中で人気を博しました。



ようこそ！京都浮世絵美術館へ

当美術館は、浮世絵という世界に誇る日本文化を間近に見ることのできる美術館として、2017年4月にオープン致しました。浮世絵は16世紀後半に京都の庶民生活を描くかたちで芽吹いたとも云われ、18世紀には江戸（現在の東京）で流行や話題を表現した大衆文化として広まりました。当美術館では浮世絵の三大巨匠である北斎・歌麿・広重をはじめ、江戸時代の作品を展示しております。絵師たちが趣向を凝らして描きあげ、「名も無き彫師、摺師」が手がけた江戸時代の「今」を、どうぞゆっくりとお楽しみください。

かつしかほくさい
葛飾北斎

1760年（宝暦10年）江戸の本所割下水（現・東京都墨田区亀沢）に生まれました。1849年（嘉永2年）北斎は90歳で生涯を閉じるまでに約3万点を超える作品を発表し、晩年は自ら「画狂老人」と名乗り一生を画業に捧げた絵師でした。代表作に「富嶽三十六景」や「北斎漫画」などがあり、大自然の絶景、大胆な構図の風景画、人々の暮らしや世相、四季折々の花鳥風月など数々のジャンルの作品を残しました。1999年アメリカ合衆国の雑誌「ライフ」で「この1000年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」で日本人唯一ランクインし、画家アンリ・リヴィエール、作曲家クロード・ドビュッシーなどに影響を与え、今でも世界中で名声を博しています。

常設展示作品のご案内

葛飾 北斎



ふがくさんじゅうろっけい かながわおきなみうら
富嶽三十六景 神奈川沖浪裏



ふがくさんじゅうろっけい がいふうかいせい
富嶽三十六景 凱風快晴



ふがくさんじゅうろっけい さんかはくう
富嶽三十六景 山下白雨